

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

いよいよ新型コロナウイルスの5類への移行が始まります。法人内でも院内感染対策会議を重ね今後の対応を決定致しました。業務上、勤務中のマスク取り外しはできませんが、ウイルスとの共存という観点から、今後も基本に忠実な感染対策を実施して参ります。

今回は、令和5年度の当法人における事業計画を説明させていただきます。

【 R5 年度事業計画 】

- ・ 新型コロナウイルス（感染症）への感染対策の継続と類型変更への対応
- ・ 医療区分変更への対応（医療療養病床）
- ・ 利用者像の変化への対応（介護医療院）
- ・ 千葉芙蓉病院の新築計画
- ・ 老健における大規模修繕実施、病床変更議論の継続
- ・ 病院及び老健の稼働率引き上げ
- ・ 在宅事業所における利用率向上、事業継続の判断基準の設定
- ・ 全事業所における事務局の組織再編、本部（町田市）機能の強化
- ・ 外国人労働者の受入れ
- ・ 業務効率化（DX）を目指し、電子カルテ導入、LIFE 加算取得等に取り組む。

医療療養病床では、医療区分の変更に常時対応。介護医療院では、利用者像の変化への対応を目指します。

千葉芙蓉病院は、新築移転を基軸に計画を進行し、候補地の選定等を継続。又、地域住民の理解を得られるように行政とのパイプ強化に努めます。

老健では、予定されている大規模修繕の実施。また、

千葉芙蓉病院の新築予定に合わせて今後の収益予想から病床変更も含めた議論を継続します。

稼働率が低下した病院及び老健においては、紹介先とのパイプ強化に努め、前年度の稼働率からの引き上げを目指します。

各在宅系の事業所では、コロナ禍の影響により収入がダウンしている事業所の再構築。また事業継続の最低ラインを設定し、今後の判断基準とします。

事務局については、新規事業計画、人材確保、業務効率等への対応に、一貫通貫的な組織になるべく全事業所において組織再編を実施。特に本部（町田市）機能を強化し、君津市で運営する施設・事業所との業務連携を完成させます。

外国人労働者については、町田市、君津市共に年度内での受け入れを予定。今後も雇用環境の改善に積極的に取り組みます。

医療・介護業界における業務効率化（DX デジタルトランスフォーメーション）を目指し、ふよう病院では 2024 年度中に電子カルテ導入を決定。又、介護事業所においては、LIFE 加算取得を予定。LIFE データを有効活用し、制度対応に取り組めます。また今後は研究費（仮称）を計上し、ロボット、AI、ICT 等の実用化推進による人員基準要件緩和への対応を実施します。

最後に「三方良し」の精神を見習い、ご利用者良し、スタッフ良し、世間良しの精神で取り組みます。地域に根差し、ご利用者に満足していただけるサービス提供とは何か。スタッフが満足する施設・事業所のあるべき姿とは何か。法人全体の取り組みとして、運営方法を追求する所存です。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会（事業所一覧）

- ・ ふよう病院
- ・ ふよう病院介護医療院
- ・ 芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・ グループホームあおぞら
- ・ デイサービスふれあいルーム
- ・ 千葉芙蓉病院
- ・ きゃらの樹ケアセンター
- ・ 千葉芙蓉ハーモニー
- ・ 千葉芙蓉ステーション



2023 年 2 月院内研修『ハラスメントについて』

発行者：人事課 磯部

内 容：新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、久しぶりに集合研修が実施できました。ハラスメントにつきましては、法律の罰則強化や防止のための研修が義務付けられ、また、起きてしまった時の対応の整備が求められています。ハラスメントの問題点として、その行為を行っている人が自分のやっていることがハラスメントにあたるとは思っていないことがあげられますが、今回の研修では「モラルハラスメント」「逆パワーハラスメント」「カスタマーハラスメント」を取り上げ、当事者と

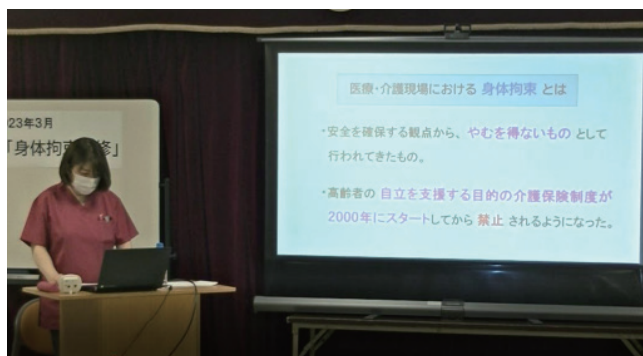
なってしまった場合や、相談を受けたらどうするかについて説明がありました。



2023 年 3 月院内研修『身体拘束研修』

発行者：身体拘束廃止委員会 荒川師長

内 容：今回の研修では、“身体拘束ゼロを目指す”ことは理想ですが、当院では必要と判断して法律に則って実施している場合があること。少しでも拘束を減らしていくためには、日々の細かい記録を残すことが重要となることを説明し、具体的に、他院では拘束を受けていた方が当院に入院したあと、時間を経て拘束具がなくなった事例の経過と記録を紹介し、その必要性を重ねて訴えました。



2023 年 3 月防災訓練

発行者：ふよう病院 防災委員会

内 容：グループホームあおぞらで、夜間想定自衛消防訓練を実施しました。夜間に火災が発生した場合は、ふよう病院の職員4名が応援に駆けつけることになっており、連絡を受けてから到着後、入居者を避難誘導し避難場所で見守るまでを訓練しました。グループホームの場合は避難場所や導線の確認をするだけでなく、認知症の入居者がパニックを起こすことも想定されるため、混乱しないように落ち着かせる声かけなども知っておく必要があります、日頃の訓練が大切になってきます。

医) 芙蓉会では、実際の災害時により良い備

えができるようにするため、繰り返し防災訓練を実施しております。



管理者研修

2022 年度管理職研修（全 4 回：40 名が対象）の 4 回目を 2 月 17 日、24 日の二日に分けて開催しました。第 1 回～3 回までに、管理職の役目についてと教育・運営におけるコミュニケーションについて学んでいましたが、最終回は現場の業務改善について考える内容でした。また、この 4 回の研修をふり返ってもらい、今後自分達は管理職としてどのように部下と接していくべきか、働きやすい職場環境をどのようにして構築していくのかを考える研修となりました。参加者からは、「4 日間の研修は意義あるものだったので、継続して学んでいきたい。」という前向きな感想を多くもらいました。同じような悩みを抱えながらも共に前を向いていく仲間がい

て、皆で働く環境を良くしていきたいという思いを共有できたことが、この研修の成果だったと思います。

